

(様式2)			
学 校 関 係 者 評 価 報 告 書			
(新居浜特別支援学校みしま分校)			
学校番号 (5 4)			
評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 18日 (水)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	戸田 克明	三島公民館長	
	矢野 博幸	三島小学校長	
	合田 真由美	相談支援専門員連絡会会長	
	三好 敏文	PTA会長	
	村瀬 文枝	PTA副会長	
	井川 賀子	PTA副会長	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 - 一人一人の実態に合わせた支援や教材・教具の工夫がされており、児童生徒が楽しく活動できている。 - 児童生徒一人一人が主役となり、できたことをしっかり認めて、褒めてくれることに喜びを感じ、自己肯定感も高まっている。 - タブレット端末等のICT機器を十分に活用できている。 - 校外学習へも出掛け、いろいろな体験ができている。 (2) 特別活動・生徒指導 - 運動会や学習発表会などの行事では、児童生徒一人一人の役割や分担がしっかりされており、子どもたちが自信をもって取り組んだり、楽しんで参加できたりするよう工夫されている。発表の場があることで、成功体験ができ、自信にもなっている。 - 当番や係活動なども児童生徒の特性に応じて経験を積んでいってほしい。 - 家庭だけではルールの学習が難しい場合は、適宜学校に相談することで解決できることもあった。ルールや人との関わり方など具体的な場面を設定した上で、指導しており分かりやすい。今後も家庭と連携を図ってほしい。 - 市内の小・中・高等学校との交流ができている。今後は、地域の方との交流がより増えることを期待する。 (3) キャリア教育・進路指導 - 授業や日常生活の中で、将来を見据えたスキルの習得や作業学習が行われている。 - 子どもの自立を目指した支援や進路指導が行われている。今後も、小学部・中学部の段階で身に付けておきたいことの定着を目指して、子どもの実態に合わせた取り組みでいってほしい。 - 将来を考えた体験が進路決定に役立つと思う。今後もキャリアガイド教室を継続してほしい。 (4) 健康・安全 - 子どもたちの健康状態に気を配り、体力の向上に努め、発達段階に応じた安全教育が行われている。 - 三島小学校との合同訓練や無告知での避難訓練の実施等、様々な場面を想定した訓練が実施されている。 - 保健委員の活動では、子どもの放送で健康について呼び掛けられていてよかった。 (5) 研修・センター的機能 - 校内外の研修に積極的に参加し、授業の改善に取り組んでいる。 - 子どもたちに係る関係機関の職員が学校を見学したり、参観できる機会はありがたい。学校公開について他校の教職員や地域の方々へもよりPRし、積極的な参加を呼び掛けたい。 (6) 学校運営・PTA活動 - PTA理事と連携を密にしPTA行事を実施しており、ホームページやPTA通信を利用して情報発信に努めている。 - 保護者との協力体制が感じられ、保護者の理解のもと学校が適切に運営できている。 - PTA研修など保護者が学べる機会があることはありがたい。PTA活動を通して、一体感のある雰囲気が高まり、保護者同士がつながれる場となっている。施設見学など、毎年あればよい。		- 今後も個々に応じてきめ細かな指導・支援の充実に努める。 - ICT機器を用いた教材作成や授業での具体的な活用事例を共有し、ICT機器をより効果的に活用しながら「分かる・楽しむ授業」を実践していく。学習したことを実際の生活場面で応用したり、いろいろな体験が行えるよう、校外学習も積極的に行う。 - 運動会や学習発表会の行事では一人一人の活躍の場を大切にする。 - 係活動や児童生徒会活動など、今後も児童生徒一人一人が意欲的に見えるよう工夫する。 - 約束事やルールなど、児童生徒に分かりやすく伝える。また、家庭と連携し、児童生徒の実態に応じて様々な場面を設定した指導を行う。 - 三島小学校や地域の学校との交流、校外学習や作品の出展など地域とのつながりを大切にする。今後更に地域の方々と交流できるような場を機会を設ける。 「キャリア教育は学校生活全般で実践するもの」であることを教職員で共通理解し、早期からのキャリア教育を実践する。キャリアガイド教室等、児童生徒一人一人の実態に応じた自立に向けた指導、将来を考える機会を大切にする。 - 今後も様々な場面を想定した避難訓練を繰り返す行うとともに、交通安全教室の実施など学校や地域での生活が安全に行われるよう、安全教育にも努める。 - 感染症対策や望ましい生活習慣の形成のため、それぞれの発達段階に応じて指導を行う。 - 今後も実践につなげやすい研修を通して、授業改善を図る。 - 学校公開について関係機関に周知していただけるよう、情報発信に努める。 - 今後もPTA活動が充実していくよう、理事会を中心に様々な協議や情報共有、情報発信に努める。また、参加しやすい・参加したい活動になるよう、理事を中心に積極的に保護者の意見を取り入れながら計画していく。 - 地域での校外学習の積極的な実施の他、小・中・高等学校との交流、地域交流の継続する。新たに公民館活動に参加し、地域の方々との交流を行い、子どもたちのことを知っていただく機会を設け、地域に根差したより良い学校運営に努める。 - 今後も三島小学校との交流を継続し、教職員同士が互いに学び合える関係を楽しんでいきたい。レクリエーション交流など教職員の親睦も継続して実施したい。 - 定期的にまたは必要に応じて関係機関との連携を図る。 - 子どもたちが主体的に活動に取り組めるよう、学習内容や支援を工夫し、体験的な活動の機会を設定していく。	
2 学校運営への提言 (1) 公民館活動や地域のイベント活動の中で、交流できる場を公民館としても積極的に作っていきたい。 (2) 高等部卒業後は四国中央市で過ごす。子どもがこの市で笑顔で過ごすことを目標に、学校・家庭・地域が繋がった支援になることを願っている。 (3) 5年間の三島小学校とみしま分校との交流の成果を感じる。分校の先生達の適切な方法での支援の実施に学びも多い。今後、教職員同士の親睦を深めるような機会がもてるとよい。 (4) 個別のケースでの情報共有など、今後も相談専門員との連携を図ってほしい。 (5) 受け身の学校生活ではなく、今後も障がいの特性等に応じて、一人一人が主体的に活動してほしい。 (6) アンケートの数値を維持できるよう、保護者も協力をするともに、子どもたちに寄り添った指導を続けてほしい。今後も更なる良い体験や学習内容を新しく見付け出してほしい。		- 地域での校外学習の積極的な実施の他、小・中・高等学校との交流、地域交流の継続する。新たに公民館活動に参加し、地域の方々との交流を行い、子どもたちのことを知っていただく機会を設け、地域に根差したより良い学校運営に努める。 - 今後も三島小学校との交流を継続し、教職員同士が互いに学び合える関係を楽しんでいきたい。レクリエーション交流など教職員の親睦も継続して実施したい。 - 定期的にまたは必要に応じて関係機関との連携を図る。 - 子どもたちが主体的に活動に取り組めるよう、学習内容や支援を工夫し、体験的な活動の機会を設定していく。	